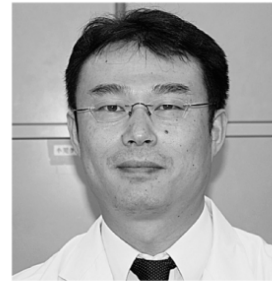


名古屋市立大学泌尿器科時代の新聞記事(1)

泌尿器疾患 治療最前線

企画・制作
中日新聞広告局



講師 小島 祥敬先生

安全・確実な前立腺 がん手術が可能

欧米で前立腺がん手術の8割以上を占める「ロボット手術」とは、患者さんのお腹にあげた穴から鉗子やメスを取り付けたロボットのアームと内視鏡を入れ、離れた場所から映し出された画像を見て医師が操作するものです。要はロボットを用いた腹腔鏡手術ですが、立体的な3次元画像を拡大して見ることができ、うえ、精巧なロボットのおかげで神経の張り巡らされた狭い場所での緻密な作業や尿道と膀胱の吻合も正確に行えます。ロボット手術により、患者さんの負担を減らすだけでなく、より安全・確実に前立腺がんの摘出が可能となったのです。※前立腺がんのロボット手術は保険外診療です。

2011.7.24 中日新聞